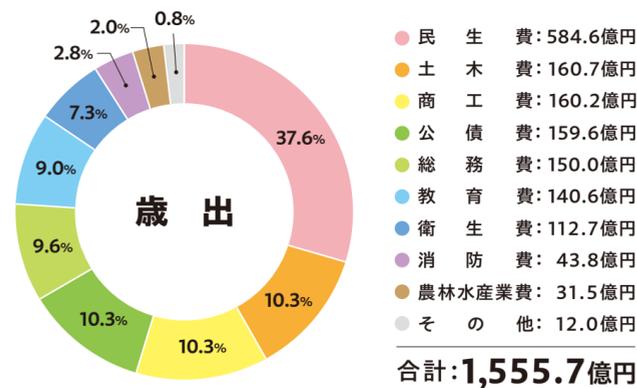
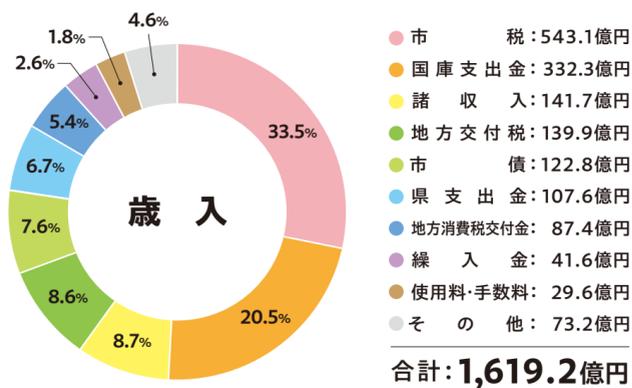


令和4年度 一般会計決算

歳入1,619.2億円(前年度比マイナス2.8%)

自主財源の確保や事業の選択と集中に努め、市民の視点に立った行財政改革を着実に推進します。



第七次前橋市総合計画 6つのまちづくりの柱

1 人をはぐくむまちづくり(教育・人づくり)

- GIGAスクール運営支援センターの設置や学習ソフトなどの充実、小学校への大型モニター整備
- 1食あたり30円の材料費充実に対する保護者負担分を公費で負担し安心安全でバランスの取れた給食を提供
- 電子書籍サービスとICタグシステムの導入(利便性向上)
- 臨江閣などを活用した各種イベントの実施

4 活気あふれるまちづくり(産業振興)

- 次世代を担う認定新規就農者に対して、経営安定を図るための資金交付
- 民有林の整備や木材利用の促進、自伐型林業者に対する補助を実施するなど、森林整備を総合的に推進
- 養鶏農家に小動物侵入防止対策にかかる経費を補助するなどの予防対策の取組

2 希望をかなえるまちづくり(結婚・出産・子育て)

- 結婚を望む誰もが希望を実現できる環境づくりを推進
- 不妊治療や不育症治療の費用を助成し、妊娠を望む方の経済的な負担を軽減
- 妊婦及び児童への5万円の支給と伴走型支援を実施する出産・子育て応援給付金事業を開始
- 一人親家庭の生活の安定に必要な不可欠な教育費確保の支援

5 魅力あふれるまちづくり(シティプロモーション)

- 前橋文学館やアーツ前橋で企画展などを開催し、市民が芸術文化に触れる機会を創出
- 東京オリンピック・パラリンピック後のレガシーづくりとしてホストタウン登録国との交流事業を実施
- 空き家バンクの利用を促進する事業への補助を開始
- 多言語ハザードマップ作成、外国人向けの防災セミナーの開催
- 遊休不動産の利活用に係る費用を補助

3 生涯活躍のまちづくり(健康・福祉)

- 認知症などに関する相談を継続的に行う伴走型支援拠点を整備
- 一人ひとりの耳の聴こえ方に合った補聴器の購入補助
- 18歳までの子どもの通院費の無料化
- 患者の心理的・経済的な負担軽減を図る「アピアランスサポート事業」を新たに開始

6 持続可能なまちづくり(都市基盤)

- 都市計画道路や、新市建設計画及び新市基本計画に位置付けられた路線の整備
- 電力の低炭素化と経費縮減、新エネ・省エネ機器の設置補助
- 指定避難所となる全ての学校にテレビを設置、防災行政無線システムを更新し、防災機能を強化
- 高齢者を対象に詐欺被害等防止機能付き電話機等の購入補助や固定電話に外付けする対策装置の無償貸出

前橋市議会 | 前橋令明 会報 秋号 2023.10



幹事長挨拶

前橋令明 幹事長 横山 勝彦

前橋令明の幹事長を務めさせていただいております。横山勝彦でございます。市民の皆様には、日ごろから前橋令明の議会活動に対し、ご理解をいただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルスが本年5月に5類へ移行し、前橋市の各地域では久しぶりに夏祭りなど、多くの行事が開催されております。4年という期間において、行事の開催を担う方々にとっては大変なご苦労があったものと思っておりますが、各地域では多くの人が集い、地域の賑わいが戻ってきたと感じております。

一方で、エネルギー・食料品価格等の物価高騰、例年にない猛暑日数、2度にわたる突然の降ひょうなど、私たちの暮らしを脅かす出来事が数多く発生しました。こうした状況を受け、前橋市においては、省エネ家電買換え補助金や降ひょう被害を受けた家庭への見舞金支給等を実施してきました。

今後私たちが前橋令明は、市民の皆様のご生活に寄り添い、一人ひとりが安心して暮らせるまちづくりを目指すとともに、前橋の発展のために尽力して参りますので、ひきつづきよろしくお願いたします。



市長挨拶

前橋市長 山本 龍

前橋令明の皆様には、日頃より市政各般にわたり格別なご指導、ご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本市では現在、「新しい価値の創造都市・前橋」を将来都市像に位置付け、「市民一人ひとりが個性と能力を生かし、個々に輝くことにより新しい前橋らしさを創造するまち」の実現に向けて各種施策を進めております。

とりわけ、リアルとデジタルの融合に力を入れており、多くの市民が取得しているマイナンバーカードやデジタル技術を活用することで、個別最適化された住民サービスの創出をさらに加速させてまいりたいと考えております。

また、豊かな自然や歴史文化、伝統を守りながら、環境と調和したゆとりある質の高い生活を実現する「スローシティ」へのチャレンジも継続しております。古い空き家の改修により、移住者の受け皿拡充等も進んでおり、こうした新たな風を巻き込みながら、さまざまな新しい価値が生まれつつあります。

引き続き、前橋令明の皆様と共に、力を尽くしてまいりますので、市民の皆様におかれましても、本市のまちづくりに対しまして、格別なご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



朔太郎橋から見た前橋文学館

表紙の説明



2階にある常設展示室

萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館 開館30周年

詩人・萩原朔太郎は口語自由詩を確立し、日本近代詩史に大きな足跡を残しました。平井晩村、高橋元吉、萩原恭次郎、伊藤信吉など多くの詩人や文学者を輩出した前橋は、「文学のふるさと」と言われています。常設展示のほか、企画展を年数回開催。なかでも、萩原朔太郎賞の直筆原稿など関連資料は全国一の質と量を有しています。

また、年間で最も優れた詩集に対して贈られる「萩原朔太郎賞」は今年で31回目を迎えました。

広瀬川の対岸には萩原朔太郎記念館が、河畔には多くの詩碑があり、市民の憩いの場となっています。

開館30周年を迎えた前橋文学館は、萩原朔太郎の革新性を汲む孫の萩原朔美館長を中心として、日々新しい挑戦を続けています。

2024年2月に
前橋市長選挙が
実施されます。



JA前橋市が要望書を提出

令和5年8月24日に前橋市農業協同組合長以下役員と、前橋市長へ農業振興対策等に関する要望書の提出に立ち会いました。

内容としては、園芸用ハウス被覆資材張替支援補助金や前橋市主食用米生産者支援金等の6つの継続要望、そして子実用とうもろこし収穫機械導入支援や前橋産農畜産物の全国PR及び販促資材導入支援、価格安定制度の導入等の6つの新規要望がありました。

将来にわたる食料の安定供給と地域農業の維持・発展に向けた支援は重要であり、会派としてもひきつづき応援してまいります。

【編集・発行】
前橋令明編集委員会

〒371-8601 前橋市大手町2丁目12-1
TEL:027-898-6976(会派直通) FAX:027-212-7220

前橋市議会公式サイトはコチラ

前橋市議会 検索



前橋令明公式サイトはコチラ

前橋令明 検索



所属議員 紹介

QRコードから過去の議会録画を
ご覧いただけます。



幹事長
よこやま かつひこ
横山 勝彦

- 南橋地区 ●8期
- 総務常任委員会
- 議会運営委員会
- 都市計画審議会委員



議会活動報告をさせていただきます。
(令和5年第2回定例会 総括質問)

- 市長の市政運営について
 - 取組と成果
 - 課題と今後の市政運営
- 前橋市の国際交流について
 - 台南フェアの開催
 - 交流事業
- 前橋市のスポーツへの取組について
 - 中学生スポーツ活動推進モデル事業
 - スポーツクラブの設立
- 環境政策について
 - 再生可能エネルギー

- (決算委員会)
- ・市庁舎整備事業
 - ・市有施設にかかる電気料金等について
 - ・でまんど相乗りタクシー運営事業
 - ・MaaS推進事業

全国市議会議長会より、6月14日付けで市議会議員永年30年の「特別表彰」を受賞いたしました。

長い間、温かく支えてくださいました皆様と共に喜びを分かち合いたいと思います。



会 員
すが ひろし
須賀 博史

- 三中地区
- 3期
- 建設水道常任委員会
- 監査委員



今年度監査委員の任を頂いておりますが、監査委員についてご説明します。

監査委員とは独立した執行機関で、市民に代わって市民のために、地方公共団体の財務事務や事務の執行等の行政運営が、公正で合理的かつ効率的に行われているかについてチェックを行っています。

本市では、私のように議会から選任される2名と、識見を有する者のうちから選任される2名、合計4名の監査委員で行われています。

監査委員は、主として財務に関する事務について、法令に違反していないか、効率的に行われているかを監査します。それ以外にも自治体は様々な資産を保有しており、現場に赴きその管理、運用は常に正確で、効率的なものであるのか、また、行われている工事が適切に行われているかをチェックしています。

もしこれらが違法な、好ましくない扱われかたをしていたとしたら、それは住民全体にとって大きな損害となります。そうならないよう市民の皆さんの公益を守り、公正な行政を保障するため、自治体の事務のありかたを日々見つめています。



副幹事長
あらい みか
新井 美加

- 元総社地区
- 3期
- 建設水道常任委員会
- 議会運営委員会(委員長)



暑い夏が過ぎ、秋の風が心地良い季節となりました。6月定例会の総括質問において、元総社西部第一落合地区、橋梁工事が完了したことによる今後の区画整理の課題や取り組みについて質問致しました。

(質問) 橋梁の完成により、今まで区内に進入が難しかった建設機械等の出入りが可能になり、整備の進捗が図られると思います。しかし、仮設道路は事業で計画している都市計画道路や区画道路とは異なり、事業進捗のための道路であることから、地権者等関係権利者の理解を得るには簡単ではないと思いますが、課題や今後の取り組みについて伺います。

(答弁) 進捗状況により出来るところから着手し、予定箇所は盛土が必要な箇所があり、盛土周辺低地の雨水排水と、仮換地指定前に用地を使用させていただき、地権者等関係権利者に対し、ご理解とご協力を得られるよう努めると同時に適正な補償が大事だと考えております。

今後とも地域住民の皆さんのために役立つ議員として頑張っております。



副幹事長
おぶち かずあき
小淵 一明

- 桂萱地区
- 2期
- 総務常任委員会(委員長)
- 議会運営委員会



新型コロナウイルスも5類に移行して今後はコロナで疲弊した経済をいち早く回復する対策をしていかななくてはなりません。コロナ前に戻すことは容易ではありませんが、しっかり取り組んでまいります。

また、近年では大規模な自然災害が発生しており、前橋市でも7月にかけて例を見ないほどの大粒な雹被害が発生しました。予期せぬ災害の対策も重点項目と考えます。

また、デジタル化が進むとともにサイバー攻撃や電磁波などのセキュリティ対策にもしっかりと取り組んでまいります。

9月の議会では地域の問題を質問しました。空き家から越境した樹木や草の除去が民法改正により可能になったこと。西片貝町二丁目の道路拡幅工事の予定の確認。群大附中通線の幸塚町十字路の整備計画について質問させていただきました。令和7年度完成に向けて取り組んでいくと答弁されました。



会 員
あべ ただゆき
阿部 忠幸

- 大胡地区
- 6期
- 議長



第86代議長に就任して以来、早くも半年が過ぎました。その間、3月からマスクの着用は、原則として個人の判断にゆだねられ、5月からは、新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類感染症へと変更になりました。

これに伴い自治会活動、団体活動、各行事は徐々に以前の姿を取り戻しつつあり、特にお祭りや七夕などは今まで同様の賑わいを感じております。また、会議もコロナ感染症の扱いの変更に伴い、議長会もリモート会議や書面決裁など行っておりましたが、対面での会議が行われるようになり議論ができるようになり、充実しております。

さて、議長は、群馬県市議会議長会、関東市議会議長会、全国市議会議長会、中核市議長会(62市加入)、都道府県庁所在都市議長会、全国競輪主催地議会議長会等、また、群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の他、日本赤十字社評議員、関越自動車道IC設置及び関連道路建設促進期成同盟会理事等の他25期の役職も受けています。会議に出席するたびに責任の重さを痛感しております。今後とも市民の理解をして頂き会議に臨みたいと思います。



会 員
すずき としじ
鈴木 俊司

- 富士見地区
- 4期
- 教育福祉常任委員会
- ICT利便性向上特別委員会(委員長)



(総括質問) 次期市長選挙について伺います。

さて、3期目の任期は半年あまりではございますが、今後も精力的な活動によって成果を上げていただくことを期待するところです。今後の前橋市政にとって山本市長はなくてはならない存在であると考えております。そこで、市長として次期市長選挙へ向けての所信をお伺いいたします。

(答弁者 市長) 震えるようなこの大きな責任の中で、選択と課題の解決に今まで前進してきました。そして初めての選挙で掲げた公約を2期8年間で実現してきました。今、実感をしているのは 2020年に私が示したマニフェストが達成される中、新たに見つけた課題を、これまでお借りしてきた大きな組織の中の力で、さらに解決することができるかと確信しております。

私は、これからも今まで成してきたことをそれぞれ進化させる意気込みを持って臨みたいと思います。前橋の新しい電子地域通貨や市民に移動の自由を約束する。そんな社会を実現させられると信じていますし、その自負をもって市長選に挑戦いたします。



会 員
つつみ はじめ
堤 波志芽

- 桃井・中央地区
- 2期
- 建設水道常任委員会(委員長)
- ICT利便性向上特別委員会
- 都市計画審議会委員



つつみはじめです。令和5年度になり、3月議会、6月議会と続けて登壇し、今後の地元地域や赤城公園について質問要望をしました。詳細は以下の通りです。

- 【今後の政策】
- ・学校の体育館に空調設備の設置
 - ・WEB3への取り組み
 - ・電動キックボードについて
 - ・上毛電鉄の今後
 - ・老人クラブの負担軽減

- 【地元地域の諸課題】
- ・本町二丁目五差路の改良
 - ・職員研修会館の跡地の活用
 - ・市立図書館隣の旧群馬県副知事公舎の活用

- 【県立赤城公園】
- ・県と市の連携
 - ・整備後の運営は誰がするのか
 - ・赤城山から市街地までの誘導(詳しくはホームページをご覧ください)



会 員
いちむら ただみつ
市村 均光

- 城南地区
- 1期
- 教育福祉常任委員会



市村ただみつです。今年度は教育福祉常任委員会に所属し、9月議会では令和4年度の決算委員会において以下の項目について、質問・要望をいたしました。

- (質問項目)
- ・指導監査運営事業
 - ・セーフティネット支援対策事業
 - ・みんなの店推進事業
 - ・認知症伴走型支援事業
 - ・高齢者補聴器購入費助成事業
 - ・適応指導教室事業
 - ・スクールアシスタント配置事業
 - ・オーブンドアサポート事業
 - ・子ども預かりサービス補助事業

少子化が進行する中でも、課題を抱える子どもが本市においても年々増加している状況にあります。子ども一人ひとりが健やかに育つことができる環境整備をすることは、今後も前橋市が持続的に発展していくために必要な投資です。市政に反映できるよう、取り組んでいきます。



会 員
はやし こういち
林 幸一

- 城南小・一中地区
- 2期
- 市民経済常任(委員長)



令和5年第3回定例会の本会議において、次の質問をしました。

(9月12日(火)、33分間・写真14枚放映)

- 市民の婚活について
 - 未婚者数と婚姻数の実態
 - 婚活の成果
 - 行政の後押し
- 市民の相談について
 - 市民相談
 - 男女共同参画相談
- アーツ前橋10周年記念事業の取組について
 - 新体制
 - 10周年記念イベントの内容
 - 外部からの資金調達
- 水道事業におけるDX化の推進について
 - スマート水道メーター
 - 今後の予定
- 前橋の下水道について
 - 下水道の普及率と方向性
 - 水質浄化センター更新事業
- 観光庁の補助事業について
 - 経過と補助内容
 - 今後の進め方・方向
- 地域の諸課題について
 - 六供土地面整理事業
 - 南部大橋の耐震補強



会 員
こいらい りょうた
小岩井 僚太

- 南橋地区
- 2期
- 市民経済常任(副委員長)
- ICT利便性向上特別委員会



- 議会質問事項
- シティープロモーションについて
 - SNSの活用
 - 新コンテンツの活用
 - 福祉事務所における就労支援について
 - 就労意欲喚起
 - 支援メニューと実績
 - 今後の事業推進
 - 障害者優先調達推進法について
 - 現状
 - 今後の取組
 - 上毛電鉄について
 - 現状
 - 活性化策
 - ふるさと納税について
 - 現状
 - 新制度
 - 電子地域通貨事業について
 - 事業スケジュール
 - 課題対応
- 課題が複雑化、多様化して最適解が見えにくくなっていますが、今まで以上に市民の声を吸い上げ邁進していく所存でございます。



会 員
さとう しょうへい
佐藤 祥平

- 上川淵・五中地区
- 1期
- 総務常任委員会



佐藤しょうへいです。夏には4年ぶりに各地で納涼祭や夏祭りが開催され私も参加をさせて頂きました。子供たちの楽しそうな声をたくさん聞くことができました。地域の歴史や伝統文化を未来へ繋ぐ。そんな一時になったと思います。これからも地域の歴史や伝統文化を大切にしながら、明るく豊かな社会を目指し活動していきます。

- 令和5年第3回定例会で下記の質問をしました。
- 外国人共生について
 - 雇用
 - 地域
 - 都市連携
 - 外国人人材の活用
 - スポーツ振興について
 - プロスポーツ支援
 - 南スーダン選手交流
 - 子育て施設運営について
 - 保育人材確保の現状
 - 今後
 - 群馬総社駅整備について
 - 現状
 - 今後の取組み
 - 防災救急対応について
 - 林野火災予防対策
 - 林野火災への対応
 - デイトム救急隊
 - 地域の諸課題について
 - 上川淵公民館の改修
 - 江田天川大島線